



6/29
mon.

TOP NEWS

埼玉県消費者団体交流会委託事業 第1回県内消費者団体交流会
住民流の助け合いは「助けてと声を上げる」から始まることを学びました

市町村らしの会や消費者団体等の21団体67人が参加しました。午前中の学習会では、講師に木原孝久氏を迎え「住民には住民流の流儀がある—ご近所パワーで助け合い起こし」をテーマに講演いただきました。はじめに「あなたのおつき合い」の流儀を確認する〇×テストを実施し、助け合いのためには日本人のおつき合いの常識について見直すことが必要なこと、住民流の助け合いを始めるためには、自分や身内の抱えた問題を周囲にオープンにし、助けられ上手になりましょうと話されました。午後は、5グループに分かれ日頃の活動や悩みなど楽しく元気に情報交換、その後グループ別に発表が行われました。



飲料水糖度測定施(志木市暮らしの会)

6/18
thur.

埼玉県生協連第44回通常総会
役員改選など全ての議案が承認されました

さいたま共済会館にて開催し、代議員定数41人中(実出席32、書面出席9)が出席しました。来賓として埼玉県県民生活部消費生活課課長 山本好志様、JA埼玉県中央会常務理事 永島朗様よりご挨拶をいただきました。次に、岩岡会長理事が第1号議案から第5号議案まで一括提案しました。続いて4人の代議員からの発言、議案討議のまとめを行い、全ての議案が承認されました。



山本好志様

永島朗様



講師：木原孝久氏

5/26
tue.

第51回埼玉県消費者大会第1回プレ学習会
消費者の権利を守るために
行動する消費者になることが大切

浦和コミュニティセンターにて、講師に池本誠司弁護士を迎え、「あらためて学ぶ消費者の権利と役割」をテーマに開催し、98人が参加しました。消費者の権利の実現は、国だけに任せるのではなく、国民の努力によって保持しなければいけないもので、自ら行動する消費者になることが大切だと消費者への期待の言葉がありました。



7/13
mon.

第51回埼玉県消費者大会第2回プレ学習会
食品安全や表示を適切に読み取る
消費者力向上が大切

コープみらいコーププラザ浦和にて、講師に消費生活コンサルタントの森田満樹さんを迎え「知っておきたい 新たな食品表示と食の安全」をテーマに開催し、110人が参加しました。「食品表示法のポイント」「健康食品のリスクと問題点」「機能性表示食品とは」「届出内容で明らかになったこと」など説明し、今後、事業者の努力とともに消費者力向上が課題と話されました。



5/31
sun.

集団的自衛権の閣議決定の撤回を求める
県民集会「オール埼玉総行動」
集団的自衛権行使容認反対を
求め1万人が集う

さいたま市北浦和公園にて開かれ、1万400人が集いました。弁護士など幅広い団体・立場の人たち85団体で構成する実行委員会が主催。主催者代表のあいさつ、ゲストのスピーチ、リレートーク後に大会アピールを採択しました。集会後は、3グループに分かれてパレードを行いました。

※埼玉県生協連は実行委員会構成団体として協力しています。



6/24
wed.

適格消費者団体・NPO法人
埼玉消費者被害をなくす会第12回通常総会
事業報告、役員一部選任議案が
承認されました

浦和コミュニティセンターにて開催し、団体・個人正会員等62名が出席しました。会を代表し池本誠司理事長、来賓の埼玉県消費生活支援センター所長の飯岡広子様よりあいさつをいただきました。続いて岩岡宏保専務理事から第1号議案、第2号議案の提案、質疑応答後、賛成多数で承認されました。次に、2015年度の体制や活動委員会の活動等が報告されました。



広がる 県内生協の 多彩な活動



コープみらい



NPT再検討会議で 「核兵器のない世界」実現をアピールしました

4月24日(金)から4月30日(木)まで、ニューヨーク国連本部で5年に一度開催されるNPT(核不拡散条約)再検討会議への生協代表団の一員として、コープネット事業連合のグループ生協とともに、コープみらいから組合員理事と職員を代表派遣しました。ニューヨークで、各国のNGOとの共同集会や平和パレードに参加したのははじめ、原爆展や日本人学校での被爆体験証言の取り組み、各国政府代表団との懇談などの被爆者の活動をサポートしました。

※1 核兵器廃絶のためのNGO共同集会後、平和パレードに参加しました。
※2 組合員の皆さんにご協力いただいた、「折り鶴」をニューヨークでの平和パレードなどで配布しました。

医療生協さいたま



保健センターと協力して、 世界禁煙デーをアピール

6月4日(金)、アリオ川口において、南部地区主催のWHO世界禁煙デーの取り組みを行い、スモーカーライザー(呼気中一酸化炭素濃度測定器)を使った健康チェックなどを254人の方に実施しました。今年から、川口市の保健センターや国民健康保険課の保健師が4人参加し「川口市の健康診断のおすすめ」コーナーで、いっしょに市民の健康増進に向けた取り組みを行いました。保健センターの所長様から「組合員さんの協力あっての取り組みですね。来年もやりましょう」と、今後も行政と協力した取り組みが進むことになりました。

子どものその保育生協



「頑張って歩くよー」・・・ お父さんも頑張った!!

子どものその保育生協理事会の「お父さんと遊ぼう委員会」が主催する恒例行事「お父さんと山登り(今年は大高取山)」が、5月31日(日)に行われました。3歳児から小学校高学年の兄弟まで、お父さんと一緒に山に登ります。およそ450人の親子が挑戦。初めて参加するお父さんたちは、山道の険しさに驚き、初参加の3歳児には「おかあさん」「だっこして」と泣き叫ぶ子もいて、なだめあやしながら苦労されたお父さんもいました。これが4歳児になるとすいすい登り、逆に励まされた方もいたようです。親子の絆が深まる一日となりました。

生協バルシステム埼玉



2015年度安全運転実技研修、 ドライバーズコンテストを開催しました

6月20日(土)、岩槻セットセンターにて安全運転実技研修を行いました。実技研修は『配達業務全般に対する意識強化』を目的とし、19名の配達担当者が3グループに分かれて複数のカリキュラムを受講しました。研修の中には組合員対応に関するものもあり、「バルシステム 配達担当4つのこころえ」を基本に、各配達担当者の組合員に対する接遇を学び、業務品質の向上を図りました。最後の事故検討会では、グループワークで一日を通してのまとめを発表し、研修で成績上位の配達担当者3名の表彰がありました。

生活クラブ生協



三富協同村の研修・学習会を開催しました

「三富協同村」は、三富で築いてきた先人たちの知恵を次世代へつなげていき、生活クラブの掲げる「生産する消費者」を文字通り「生産そのものに参加する消費者」へ発展させ、持続可能な「農」を目指していく活動です。7月1日(水)に、2015年度新理事・監事の研修として、三富協同村にて学習会を開催しました。三富協同村を理解するためには三富の自然環境、生物多様性、景観の保全、防災機能、文化伝承などの精神的価値など、都市近郊農業の持つ多面的価値を知る必要があります。三富の農業が継続の危機にさらされていること、そしてなぜ今、協同村を設置するのかを学びました。

コープネット事業連合



女子栄養大学と 「産学連携包括協力に関する協定」を締結

6月17日(金)に、コープネット事業連合は、女子栄養大学の監修による健康をテーマとした惣菜商品開発とあわせて、会員生協での活動や食育コミュニケーションでの社会的発信の強化を目的として「産学連携包括協力に関する協定」を締結しました。協定式に先立ち、会員生協の80店舗(※)では、今年4月より同大学の監修を受けた「健康弁当 からだ健やかシリーズ」を販売し、組合員から好評をいただいています。

※コープにいがたを除く。
※1 協定を交わすコープネット赤松理事長(前列右)と女子栄養大学香川芳子学長(前列左)
※2 担当バイヤーから報道関係者向けに井当の説明を行いました

さいたま高齢協



第10回通常総代会記念講演 「私の社会保障論」を開催しました

6月28日(日)さいたま高齢協、第10回通常総代会にて医師、本田宏氏をお招きして社会保障をテーマにした記念講演が行われました。テーマは「私の社会保障論」と題して医療現場から見えてくる現状の社会保障に関する問題点、医療現場で直面している問題点等を海外の医療実態と日本の現状を対比したわかりやすい講演内容でした。又、医療や介護の現状、社会保障等に対する日本のマスメディアのありかたを、ご自身の新聞連載の体験からユニークな話を織り込みながらも、問題を浮き彫りにする話術はとても印象的でした。